

奇談 後集

音物語

徳
846
3



長居して悪獸は喰殺とまらば助見事とぞや
船くみりらん彼等れりぐりなき大切の家身なりふくこの
不返去るふまうしと系鞋とメ連し
るるより吼たる狼の口とあとして富右衛門は待居とぞや
富右衛門今の経神経命のふとん紙とどめとやつ花をらば
一折小せんものし得えくつうげ
ふりて富右衛門は養ふとま口紙ありとて若しむやうと紙
アんで富右衛門の附狼人紙喰ひして骨紙なる時よと
人と教えて扱費と右と云傳へ紙なごもあまはげ狼

正しく人骨紙咽はまたるさるべし
助けとらせんと大徳の富右衛門の兩肌紙押狼は向いとも
膝しげま口紙十分は用と富右衛門の糸は踏まらぬ
とよ紙と入咽のあがり紙探るよあそと引出し
作と見るよ骨紙のあらで金の包とふて用を金三拾兩甲
加伊澤村百姓福右とあふ富右衛門大ひよ不
咽にあらば若ししし守へし福右とやらん紙喰殺し
牙咽は折りしや行ふもせよ甲加へ紙むく我なまは
へま紙金の子細紙乳さんと懐中をまは狼はまらり

三才五言

二



幸物言卷之三

福翁をよむるをきつたははらへりてとて是下世者よ面會せんと宣
 せしむらうすつこのはやとふまげよ尊きとるちきつ懐中より一封
 の金紙とり出しけ金子は是は在りやと福翁うきあはれとて一
 紙くくとして大ひな作天し如程け金の拙者の重きとけ云付
 もそふが手紙にいふして是下の紙もよ入れやとついに福翁
 折笑ひは金に付てハ一袋の考信の紙をうけけ方うり紙に
 かしらるる紙も是下の紙にきり其上とてけ方うりもあはれや
 さんとついに福翁折笑ひとる程け金に付ては程々の物信
 あり紙中なるるべし。そふ南ま西國三十三所の冥極紙志僕一人

石連首尾英徳谷波はうら他のそまうら山傳ひよは月の本
 づりいところ僕に石紙とらせんとてへをいし。予折ら山路紙歩り
 りふ年古根の竹園とて折く折えにまふさぐ。そふ食はん海と
 取し。ぎうらくと付紙らんまま由へ海は親も天おふ花いんも
 とらるるまう。一刀紙橋まの帯とまども中へ彼は歌とてま力な
 けまは是非終終終命の場所。殊まてもあはらばと。そふ紙
 穿るといへども。一つの石もあらざまば橋ま付たる用とそふ金
 命あくて何うせん。南ま親世昔菩薩とらに親ま。親の眼
 目あまはつつけし。彼の口と家ひて。そふ食はんと花のふ

拍子目高の道ひ。狼の口へ投せど。悪敷い足は。碇易しして行
 國ともさくおし去し。白へ尤死一生の場所のづき。やうく。葬まて
 を下すい。おる止の僕に出命。おる止。ぬ。國といし。いと。法ど。り。ひ。ま
 倍り。う。ま。び。富。ち。集。つ。も。狼。を。産。に。若。し。も。お。成。た。の。と。い。後。さ。し。が。
 咽。ぬ。さ。ぐ。り。け。金。成。方。出。し。い。定。り。て。ま。い。喰。殺。と。ま。の。う。ん。せ。り。て
 ま。子。は。吊。科。に。さ。し。ま。て。後。さん。と。な。じ。も。ろ。く。身。事。り。は。う。と。
 房。も。さ。く。仲。ら。に。福。あ。い。富。ち。集。つ。づ。雷。を。集。且。正。道。う。ろ。公。大。い。よ
 成。ん。し。け。金。の。孫。は。し。お。け。り。い。ぶ。お。あ。よ。あ。ら。す。足。下。の。者。に。さ。し
 ま。し。い。ま。あ。り。お。ま。ま。し。い。り。ん。も。お。お。に。言。し。り。ん。この。金

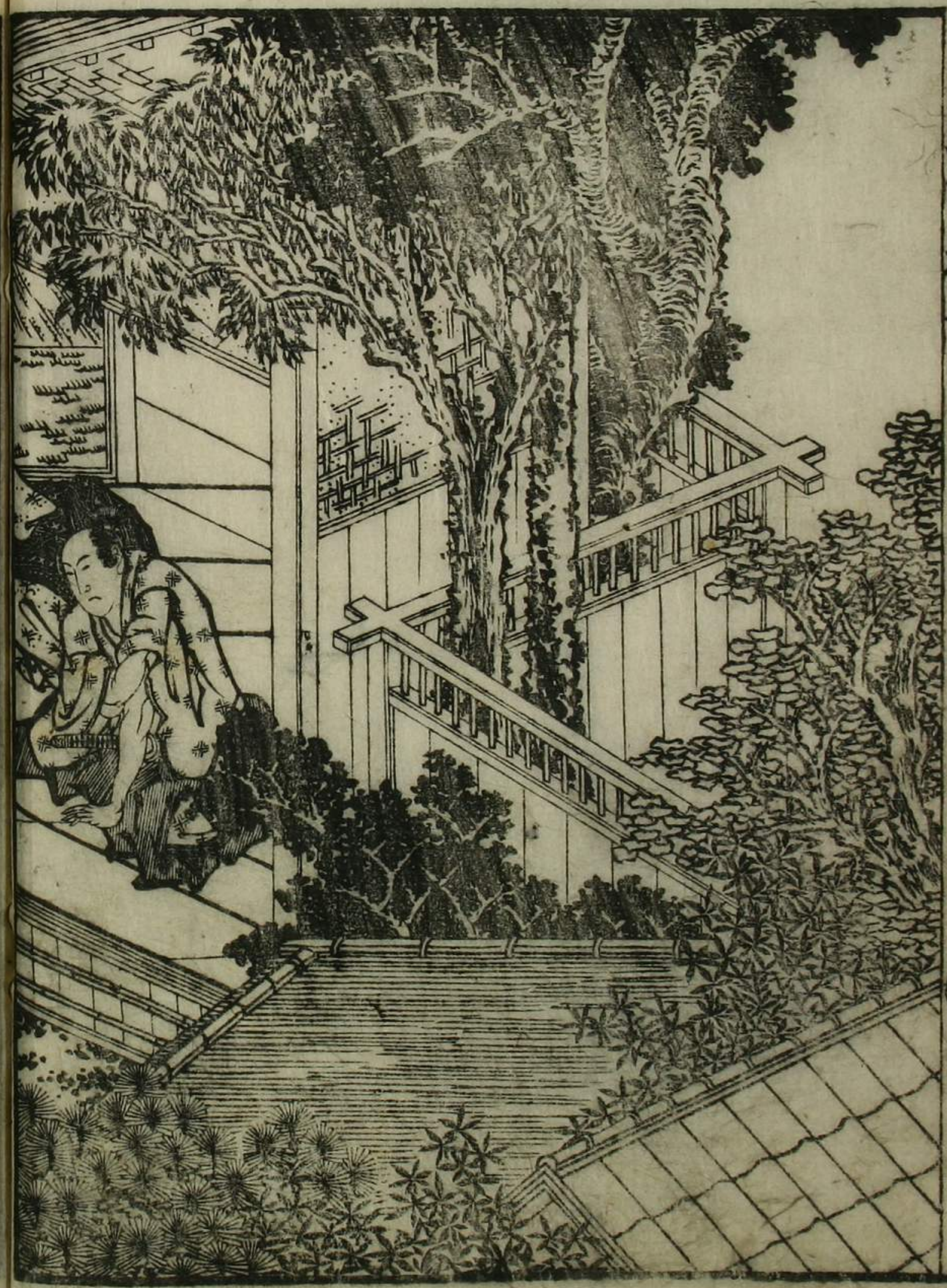
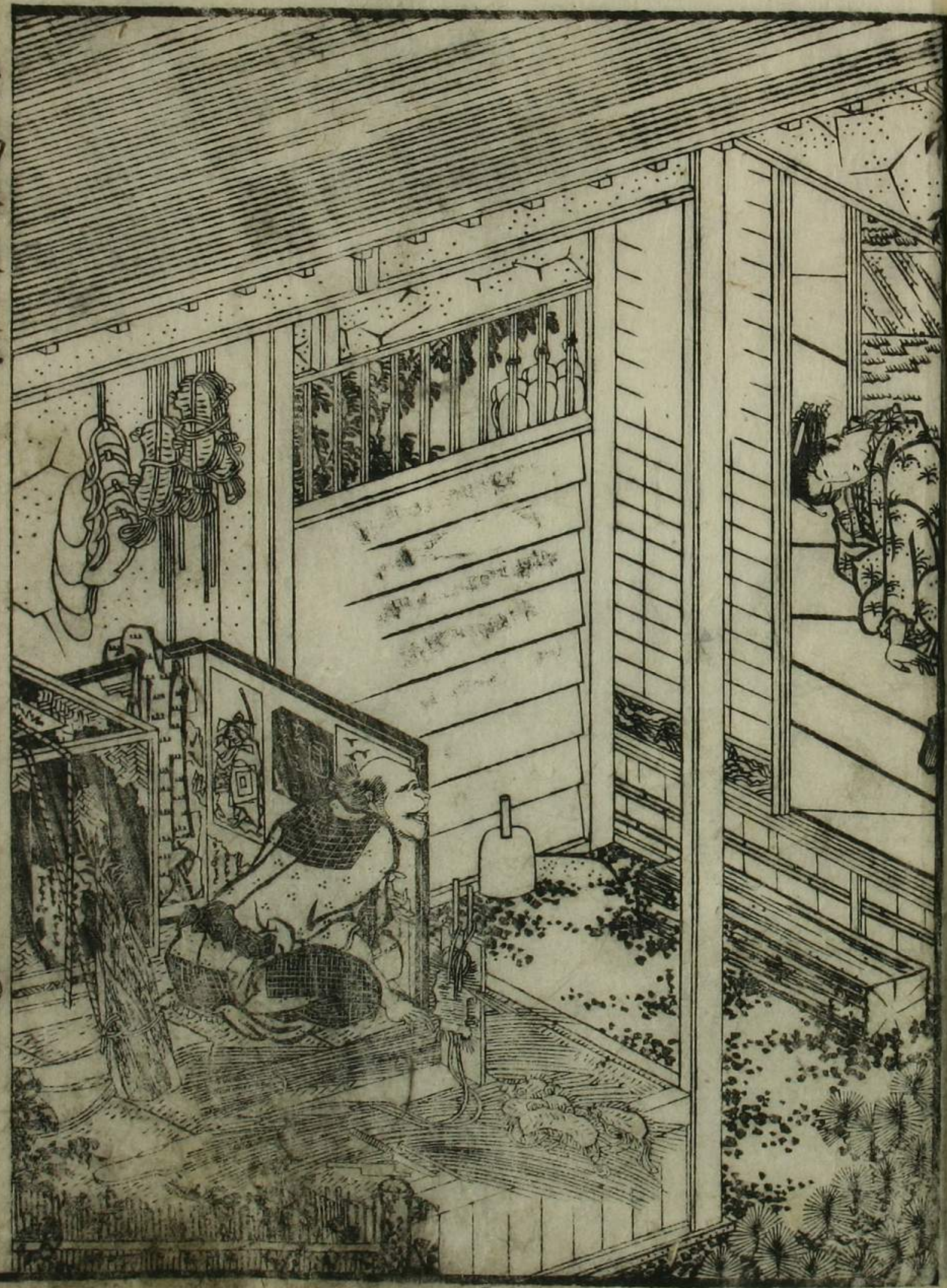
おくても。不自由ともぞんせむ。是非。一。足下。ふ。ま。し。れ。と
 引。ね。び。今。の。時。と。ら。に。何。さ。く。金。成。他。け。ま。び。福。あ。ま。て
 足下。の。ご。心。正。道。う。ろ。武士。の。あ。ま。は。私。ら。し。く。い。用。事。い。と。び
 子。り。や。う。と。べ。し。何。方。に。何。任。意。に。や。と。り。い。よ。ま。系。存。命。は。て
 何。國。と。申。後。知。と。て。も。あ。ら。ね。ど。も。甲。冑。よ。か。や。う。く。の。人。ら。り。
 書。状。と。添。ら。ま。是。一。報。さ。ぬ。と。り。い。よ。ま。し。く。い。其。人。成。事。あ。り
 万。一。更。引。ど。が。け。方。へ。あ。り。た。ま。い。つ。と。も。内。世。信。り。べ。し。と
 怒。り。う。い。い。よ。く。力。成。行。ま。い。り。甲。冑。成。事。ら。に。是。も。道。ぞ。ら
 高。の。仕。合。う。く。お。居。花。さ。ど。敷。ケ。お。あ。り。て。整。思。の。所。う。る。あ

右馬の件けんの状じやうは差出せば亭主ていしゆはうらぬく養魚やうぎよ。主人しゆじんの身
 のよはた大に教しやくを授けし。おいふ主人しゆじんの身みはゆし。此業このわざはなすにゆふ
 かや能よもか状じやうは出座しゆざするし。いつまでありとも。此心このこころをさすねく
 陸居りくぐしたまへと。列業りよくよこし。至主人しゆじんの幸しあひの教しやくいぞんばあつぐ
 けいげと。多おほくの金かねはなけり。持世ぢよ丹波たんぱ堀ほりの山やまへ出いで。その富とみを
 うり。まゐり。礼謝れいせの状じやうは。根ねの咽のどより出い。福ふくをよ貰もらひ。こや
 とも。徳とくめ。せんきて。信用しゆぎんの金かねと右みぎの金かねを返かへし。福ふくも。経けい
 進しんと。よ。女め。教しやく。産物さんぶつは。おれ。く。送おく。小治せうぢの首くびに。引留ひきどめ。教しやく。不ふ
 言ごし。る。は。丹波たんぱ堀ほり。は。隠かく。ま。一ひと。誠まことも。主人しゆじんを。侍さむらい。云い。此年このとし。経けいて

家いへ後ごし。方かたく。尊たう有あり。は。商人しやうじんの。身み。より。有あ。家いへ。志し。ま。ま。ま。大守だいしゆ
 大いよ。教しやく。び。た。ま。の。近ぢかひ。の。人ひと。教しやく。多おほ。き。の。と。得え。糸いと。一ひと。加か。縁えん。あ。ん。
 母はは。諸しよ。共ども。教しやく。不ふ。よ。ま。り。一ひと。る。も。金かね。く。富とみ。を。あ。か。一ひと。箱はこ。と。世よ。陰いん。徳とく
 の。陽やう。報ほう。を。う。け。ら。し。

○寶教馬たうきやうばが。中ちゆう。間かん。松まつ。多た。清せい。兩りやう。人にん。の。命いのち。成なり。教しやく。入いれ。活かつ

活かつ。身み。ひ。く。へ。入いれ。る。目め。流なが。河がわ。内うち。交まじ。り。の。島山しまやま。の。家いへ。光みつ。宗むね。教しやく。を。が。差さ
 出い。に。千所せんじよ。田で。を。助すけ。と。り。入いれ。者もの。あり。如ごと。少すく。より。教しやく。を。に。追お。仕し。て。悉しつ
 量りやう。も。能よ。志し。し。や。さ。し。く。主人しゆじん。の。心こころ。ふ。け。の。百ひやく。り。田で。を。助すけ。る。を。い
 と。教しやく。を。の。家いへ。成なり。化け。に。さ。す。ま。り。田で。を。助すけ。も。ま。ま。の。心こころ。義ぎ。成なり。活かつ



幸物言卷之三

なるるはよ奥方の百仕に兼といつる姫あり。是もよと容後好
 身は成緒し。花結び糸井の及ともん好。今う年二八の花の
 白へんくん成初らし。たるにいつの以し。う若葉田を助は密通し。
 人ハ急どとあひひに。ま梅成好む。痛とよりくま。あ人の大ひよ。
 作天し。卷世人角世人と。千くは人の倅ども。詮とくま。はまに
 扱はふくらふ。今ハ人目よ。ま程ま。まか。ハ。是。悟成ま。ハ。
 人目ま。あ。ハ。田。助。成。出。し。ハ。身。と。中。是。ま。ハ。隠。し。遠。
 たまども。う。ま。六。月。の。若。田。草。ふ。陰。法。を。最。後。夜。の。法。成。
 破りし。身。の。主人。の。子。母。は。ね。らん。う。う。ハ。成。成。投。て。死。る。是。悟。

小い。ま。ま。ま。で。人の。悟。ぬ。了。を。幸。ま。ま。西。方。ハ。命。忠。心。成。ま。成。
 亡。成。ま。一。遍。の。西。向。た。の。と。系。ら。す。と。よ。と。已。法。を。ま。田。を。助。も
 後。よ。う。ま。西。方。の。か。ま。ち。う。も。改。ま。づ。う。で。お。り。教。して。あ。ん。か。ん
 已。生。ま。が。ら。へ。ん。や。亦。陰。懐。姫。の。身。ま。ま。月。成。成。る。ほど。人の。目。も。も
 即。らん。家。も。武。士。の。家。ま。ま。う。り。死。を。い。さ。ご。う。く。せん。の。易。う。ま。と。母
 や。く。小。金。ハ。手。を。合。せ。世。志。の。結。し。と。よ。二。世。か。け。し。人。と。死。ん。を
 け。才。の。本。を。形。う。か。なら。す。聖。の。教。ハ。世。屋。の。家。水。の。名。う。へ。ま。う
 た。ま。へ。裡。の。小。門。より。悉。ひ。出。て。成。成。か。い。し。後。川。の。水。層。と。形。り
 ま。ん。と。直。よ。ま。う。り。互。別。ま。ん。と。と。る。成。いつ。の。同。ま。ハ。中。同。ま。

我一人好よふ十小余りし光の末端じよんぼんと定り日の暮
 ろ成結て嫩すのこけは寂寞なる位成ほさひ心陰のたとやよは
 ぬらんと嫩ふりあけ難さく土成るこのけを言ふ理とて十日の余をぬれ
 具なき終ぐらんと鼻につらさとし書とを余極う花の辺に金ありしと
 んに悦ひよ成じ入る一全と引極も引出さんとすよふ不思後やま
 の成まつとと入て初さひの思ややめはし久し全私の欲に成
 ん成助る出来んささかゝる果と由まよひ下さるべいと土に成付
 俺たれ全左馬が死散じりとと初さうてあさり成て世に成世
 有るるも海へいさる老ととりよ成成る成の魂天外に飛標く私八宝

教るが中間に成信とP老るるがやうくの事と人助る成に人日
 昔え抽ぬ死去のせら五十西の全成策に成後成世成不不成成成
 ん全の成返りし成る迷途へ成信行つ成へ成下成成成成成成成成
 全左馬不不成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成
 成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成
 種生の心成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成
 後成成の成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成
 事やらん換成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成
 ん成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成



何のふゆぬまが恙是へたより思も居るものあらんと思はまうせてありに其處
 の以十三陣の津板板河より入来らるは雨の夜を方へまより長く燃らし
 浪人一帯のほしたまへといと海くとも入るまよひて念の事の事の内
 任に被さる中し。去るより也若の叶はしれふは。はぬの控にむく。一人旅の
 人の来て若成のほし中。そと藤飯にても今うかひの食べると。そやう
 于真飯は。多そそ藤飯と世に。まが金左衛門。赤はと世を食とるに十日と
 終食なる方。まが世に。其の井もめかくやと。教碗吃。多。又折怪くと
 形じ。あだ。力成は。は折さる。た敷通に大和へ赴とも。何程の。うらんと。
 まに。ま。孔。謝。と。け。村。成。に。早。著。に。ま。ん。く。して。鳥。羽。玉。の。害。に。つ。こと。さ。う

雨の金の金左衛門も一足も引ます。術村むつれのみま。ま。ま。あ。は。出。つ。に。雨。あ。ど
 凄。あ。ら。ば。教。た。ま。へ。今。左。衛。門。と。一。人。旅。の。止。右。藤。飯。の。世。お。ま。が。ま。あ。て
 然。ず。左。佐。の。寺。つ。け。堂。下。て。も。あ。ら。ば。教。た。ま。い。と。こ。も。ま。あ。け。よ。ま。入。八。五。の。洞
 い。ひ。ろ。の。お。の。雅。ま。ま。入。作。の。通。う。は。二。三。村。の。控。中。し。也。若。の。中。に。れ。す
 は。村。隣。村。ふ。も。け。堂。明。寺。も。ひ。ら。ば。は。一。丁。じ。り。東。よ。一。つ。の。廢。宅。の。は
 是。に。着。り。化。お。屋。敷。と。の。ふ。は。し。七。つ。次。り。の。性。ま。も。ま。く。は。二。三。年。心。あ。に
 或。者。能。引。と。つ。り。て。も。勝。り。し。と。大。男。の。事。も。化。お。退。治。し。て。異。人。と。
 其。右。屋。敷。へ。行。き。て。暖。火。付。じ。て。近。ゆ。れ。休。む。の。う。強。雨。の。ま。す。す。う。用。た。た。ま。

こつめのふいせいのころぐらう後人いうては廢宅ふ一敷が洞したまふんとつゝよ
 そいぬしつふゆる。ふちのからるふとてさきさきて見しゆはたたくふいしよ
 能くたふしぬき見より何方ふてしやとあるに有大ひは籠とけしや
 大籠の人をぬいで一敷甚ふおさん。まおて行とちひひぬり。着が内らた
 へより一丁斗初たまひ。大ひるる桶の一木あり。その桶を化あのかしめし
 ぬへとくくぬきも括て雨へ漏はは。早三斗斗人の位なる明ぬきをた
 りあはしとぬのりふ。金左馬の力をたけ。如屋老の森ふらんいざや早く行て
 体よえらしとぬおとぬかして。彼右の森へまきこらしてとて五飲るま。

幸物語卷之三 早



